

# Color Gallery

## 2022年版「化学の日」 缶バッジデザイン決定

最優秀賞



齊藤 すみれさん  
(山脇美術専門学校)

優秀賞



込山 ひなたさん  
(弘前大学大学院)

日本化学会（菅裕明会長）では「化学の日」（10月23日）「化学週間」（10月23日を含む週（月曜日～日曜日））を広める取り組みの一つとして、2015年より毎年「化学の日缶バッジ」のデザインを公募しています。今年も昨年に引き続き新型コロナウイルスの影響で様々な環境変化がございましたが、497名の方にご応募いただき（内訳：小学生の部28点、中学生の部209点、高校生の部113点、一般の部147点）厳正な審査の上、下記のとおり決定いたしました。最優秀賞作品は2022年度版「化学の日缶バッジ」に採用され、全国で開催される化学の日、化学週間関連イベントで配布される予定です。なお、本年は審査過程で「コンセプト特別賞」「デザイン特別賞」「審査員賞」が設定されました。おめでとうございます。

最優秀賞	齊藤 すみれさん（山脇美術専門学校）
優秀賞	込山 ひなたさん（弘前大学大学院）
高校生特別賞	新子 優貴さん（奈良学園高等学校）
中学生特別賞	榊 千博さん（神戸大学附属中等教育学校）
小学生特別賞	先川 柚乃さん（名寄市立名寄小学校）
コンセプト特別賞	岩間 由依さん（北星学園大学）
	藤原 咲穂さん（神戸大学附属中等教育学校）
デザイン特別賞	梶原 夕紀さん（フリーランス）
	浅田 みなとさん（横浜市立左近山中学校）
審査員賞	岸田 彩佳さん
	寺尾 志音さん（市立札幌開成中等教育学校）

高校生特別賞



新子 優貴さん  
(奈良学園高等学校)

中学生特別賞



神 千博さん  
(神戸大学附属中等教育学校)

小学生特別賞



先川 柚乃さん  
(名寄市立名寄小学校)

コンセプト特別賞



岩間 由依さん  
(北星学園大学)



藤原 咲穂さん  
(神戸大学附属中等教育学校)

デザイン特別賞



梶原 夕紀さん  
(フリーランス)



浅田 みなとさん  
(横浜市立左近山中学校)

## 審査員賞



岸田 彩佳さん



寺尾 志音さん

(市立札幌開成中等教育学校)

最優秀賞作品は 2022 年度版「化学の日缶バッジ」に採用され、  
全国で開催される化学の日、化学週間関連イベントで配布される予定です。  
バッジ配布について興味がある方は [pr@chemistry.or.jp](mailto:pr@chemistry.or.jp) までお問い合わせください。

審査委員長 玉尾 皓平 元日本化学会会長/豊田理化学研究所所長  
審査員 塩野 毅 2021 年度日本化学会 副会長, 教育・普及部門長/広島大学教授  
渡部 智博 日本化学会 教育・普及部門 普及交流副委員長/立教新座中学校・高等学校教諭  
中谷 敏幸 日本化学会学術情報部長

## 「化学の日」とは

日本化学会、化学工学会、新化学技術推進協会、日本化学工業協会の4団体の共同提案で、10月23日を「化学の日」、10月23日を含む週(月曜日～日曜日)を「化学週間」と制定しています。アメリカでも昔から「Mole Day」として親しまれており、「アボガドロ定数：1 molの物質中に存在する粒子の数＝ $6.02 \times 10$ の23乗」に由来しています。化学や化学産業が社会生活に大きく貢献していることをみなさんに知っていただき、化学を盛り上げていくことを目的としています。

# Color Gallery

実験の広場

ビギナーのための実験マニュアル

## ヨウ素デンプン反応

松岡雅忠



■ ポリ点眼びんの活用 (P388, 写真 1)



■ ヨウ素デンプン反応と加熱による青紫色の消失 (P388, 写真 2)

左は温水に浸した直後、右は温水に浸して2分後。

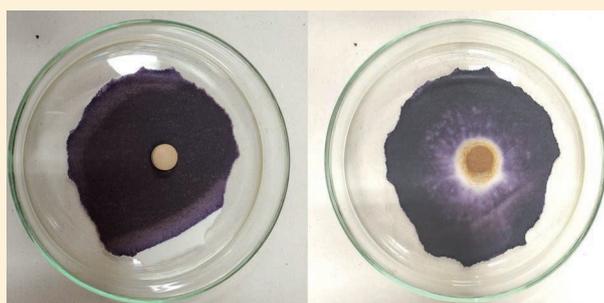


■ ヨウ素デンプン反応の色調の違い (P389, 写真 3)



■ ヨウ素デンプン反応を利用した文字の消失 (P389, 写真 4)

左はヨウ素液による描画、右はチオ硫酸ナトリウムによる消失。



■ アミラーゼによるデンプンの分解の可視化 (P389, 写真 5)